

今後取り組むべき主な施策（R8.7.10 時点）

- 「県内 42 市町村すべてが観光地」の考え方に立った観光資源の発掘・磨き上げ
 - ・自然資源の活用（アウトドア・温泉・森林浴・景観・農泊など）
 - ・歴史資源の活用（戦国武将・壬申の乱・近代戦争遺産・美濃焼・美濃和紙など）
 - ・文化資源の活用（博物館・美術館・ユネスコ無形文化遺産など）
 - ・エンタメの活用（ロケツーリズム・アニメ・漫画など）
 - ・食の活用（ガストロノミーツーリズム・地酒など）
 - ・スポーツの活用（武道・ウィンタースポーツ・サイクルツーリズムなど）
 - ・郷土の見つめなおし（教育旅行・県内三セク鉄道など）
- 岐阜県ならではの資源をストーリーでつなぎあわせた周遊型観光の推進
- 新たな岐阜の旅のモデルコース等を発信
- 県全域への機動的なインバウンド誘客
- 高付加価値旅行者向け着地型体験商品と食や宿泊を連動させたプロモーション
- 在京メディア、インフルエンサー等を活用した PR による「岐阜県の認知度向上」
- 県内在住者の県内旅行の促進
- 隣接県や広域観光団体等と連携した観光振興
- 旅行者の新たな行動変容への対応（デジタルマーケティングや AI への対応など）
- 環境や地域・文化・住民生活への配慮に係る意識啓発、地域の個性的な取組の促進
- 1 年を通じて観光客が訪れる岐阜県づくりの推進
（需要分散（閑散期・主要観光地以外への旅行）・連泊促進・リピーター獲得 等）
- 新卒・転職・定年退職者が働きたいと思う観光地・観光産業づくり
- 宿泊業をはじめとする観光産業の慢性的な人材不足解消
（DX や AI の活用による業務効率化・生産性向上 等）